

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

部局名	水道局	部局長名	岩下 満志
------------	-----	-------------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	57.3 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		43人	9人	52人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>●水道局の使命は 「市民が安全・安心で、安定した生活を継続・維持できるよう、生活環境の整備改善を進めること、併せて、企業の経済性を発揮しながら、計画的かつ効率的な事業運営を行い市民福祉向上に資することである。」</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】 (1) 持続可能な健全経営を目標とする</p> <p>【組織の目標像】 (1) 限られた職員による効率的な事務執行のできる組織を目指す</p>
-----------------------------	--	---------------	---

平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
管理運営の合理化 【水道管理課】 【上水道課】	(1) 水道事業の民間業務委託等による経営の合理化	① 多様な運営形態の事例研究と課題等の把握に努める	○ ① 経営合理化に向けて調査研究中	○ ① 経営合理化に向けて調査研究中
水道事業の統合 【上水道課】	(1) 平成28年度までに、全水道事業を、1 上水道、2 簡易水道事業に統合する。 (2) 事業統合により経営管理、事業運営の合理化を図る。	① 厚生労働省への水道事業変更認可申請 (木場茶屋簡易水道編入) ② 祁答院地区統合整備事業 秋上浄水場施設整備 上手・黒木地区の非常時用連絡管整備 L=1,880m	○ ① 計画通り施行中 ○ ② 概ね計画通り実施 (実施設計業務委託完了)	○ ① 木場茶屋簡易水道の事業統合に向け変更認可申請書作成業務及び実施設計業務委託を行った。また5地区の簡易水道の資産台帳の整備事業を実施した。 ○ ② 祁答院地区統合整備事業 ・秋上浄水場施設整備中 ・上手・黒木地区の非常時用連絡管 L=1,950m整備中

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成23年度

水道料金収納率向上 【水道管理課】	(1) 過年度滞納分収納率の対前年度比プラス	① 特別徴収（夜間・臨戸）及び停水措置の計画的な実施 ② 誓約書の作成等滞納管理の強化 ③ コンビニ収納の普及・啓発に努める。（H22 取扱件数 上水 15,219 件、簡水 1,964 件）	○ ① 停水措置は計画に基づいて、毎月実施している。 ○ ② 誓約に基づき、相談があった者に分納による滞納管理を実施している。 ○ ③ コンビニ収納の普及は延びている（H23. 9 月末現在取扱件数上水 8,965 件（対前年度比 2,310 件増、簡水 888 件（対前年度比 2 件増））	○ 水道料金滞納対策として、各月ごとの滞納整理計画を立て、停水実施を伴う戸別訪問、戸別徴収強化に取り組んできた成果により、過年度滞納分収納率は前年度比率を上回った。 ・停水実施 H23 年 4 月～H24 年 3 月まで 11 回実施 ・戸別訪問件数 1,631 件 ・停水実施件数 344 件 ・収納率 49.48%
水道施設の計画的な更新 【上水道課】	(1) 施設の更新 (2) 老朽管の更新	① 丸山浄水場自動運転機器更新 ② 中央水源地紫外線照射設備工事（樋脇） ③ 盛水水源地外遠方監視設備工事（入来） ④ 石堂地区送配水管布設工事（東郷） L=3,280m ⑤ 上水道 L=3,690m ⑥ 上甌地区の基幹改良配水管 L=2,975m ⑦ 下甌地区の基幹改良配水管 L=3,089m	△ ① 計画より遅れている。 ○ ② 計画通り実施 ○ ③ 概ね計画通り実施 ○ ④ 計画通り実施 ○ ⑤ 概ね計画通り実施 ○ ⑥～⑦ 計画通り実施（実施設計業務委託完了）	○ ①事業を発注し整備中 ○ ②工事完成済 ○ ③工事完成済 ○ ④石堂地区 1～7 工区完成 L = 2,858m、8 工区 L = 453m整備中 ○ ⑤上水道 L=3,909m実施済 ○ ⑥上甌地区 事業を発注 L=2,733m整備中 ○ ⑦下甌地区 事業を発注 L=2,826m整備中
給水サービスの向上 【上水道課】	(1) 3階直結給水の検討	① 水圧調査結果に基づく対象条件の整備	○ 直結増圧式給水設計 施行基準（案）の作成	○ 施行基準の案の作成ができた。今後、施行に向け

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

					て課題の研究や検討を実施していく。
予算の計画的執行 【上水道課】 【下水道課】	(1) 建設事業の年度内執行・年度内完成	① 計画的、効率的事業執行 ② 早期発注に努める。 ③ 無理・無駄を省いた効率的な事務執行により、建設予算の繰越を最小限に抑える。	△	〔上水道課〕 ①～③ 計画より遅れている。 〔下水道課〕 ①～③ 概ね計画通りに進んでいる。	○ 早期発注に取り組み、大部分が年度内に完成したが、一部の工事で発注までに時間を要したため年度内完成ができなく次年度に繰り越した。 ○ ①工事発注の遅れにより一部年度内完成が出来なかったため、次年度に繰り越した。
生活排水対策の推進及び下水道事業の経営改善 【下水道課】	(1) 下水道事業への接続率向上に向けた方策の検討	① 補助制度等の調査検討の実施	△	下水等の公共下水道事業への接続、下水道区域外における小型合併処理浄化槽設置整備事業への補助、公共下水道（川内処理区）整備区域の見直し等を総合的に検討。	△ 公共下水道区域見直確定の1年延長に伴い、区域見直しと併行して総合的に検討する。

部 局 経 営 方 針

<p>(2) 公共下水道(川内処理区)の接続率向上 200戸の新規接続を目標とする。 H23.3月末の接続率 54.9%</p>	<p>① 向田・宮里地区では、未接続家屋所有者への接続依頼文等の配布 ② 平佐地区では、説明会の開催及び未接続家屋所有者への戸別訪問の実施</p>	<p>○ ①② 平佐地区の平成23年4月1日供用開始区域(199戸)について8月に課職員全員で戸別訪問を実施。また、工事及び接続についての地元説明会は4月から5回実施して周知を図ってきた。今年初めて平佐地区の夏祭りにおいてチラシ等の配布、相談窓口を設置して普及活動を実施した。</p>	<p>○ ①②平佐地区の平成23年供用開始区域(199戸)を課職員で戸別訪問を実施し、46件の接続を含めて川内処理区内で計229件の接続があった。工事及び接続についての地元説明会を6回実施した。また、今年度は初めての試みとして平佐地区の夏祭りに参加し、チラシ等の配布、下水道相談窓口の設置をして普及活動を実施した。</p>
<p>(3) 農業集落排水事業入来地域(入来中部処理区・大馬越処理区)の接続率向上 5戸の新規接続を目標とする。 H23.3月末の接続率 入来中部 54.6% 大馬越 65.9%</p>	<p>① 入来中部処理区・大馬越処理区の未接続家屋所有者への戸別訪問又は接続依頼文等の配布</p>	<p>○ ① 未接続者への接続依頼文書を配布して接続を促した。入来中部処理区において3件の新規接続があった。</p>	<p>○ ①未接続者への接続依頼文書を配布して接続推進を実施した。入来中部処理区内において7件の新規接続があった。</p>
<p>(4) 公共下水道、農業・漁業集落排水及び地域下水処理対象地区外での小型合併処理浄化槽の普及整備</p>	<p>① 小型合併処理浄化槽設置整備費補助金制度の周知を図る。</p>	<p>○ ① 広報掲載による補助金制度の周知を図った。5人槽で226基、7人槽で53基、10人槽で2基、単独浄化槽からの切替え17基の申請があった。</p>	<p>○ ①広報掲載による補助金制度の周知を図った。5人槽で343基、7人槽で78基、10人槽で5基の計426基で単独浄化槽からの切替え26基の申請者に補助金を交付した。</p>

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

下水道区域の見直し 【下水道課】	(1) 公共下水道（川内処理区）区域の見直し	① 平成23年度中に全体計画の見直しを実施	○	① 下水道事業団と協定を結び、作業進行中である。	○ ①公共下水道（川内処理区）区域の見直し作業における区域見直し案作成作業は終了した。
⑦年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業経営合理化に向け平成28年度の水道事業統合を目指している。事業統合に併せて検針業務等の民間委託を行えないか等、調査研究を進めているところである。 ・過年度水道料金収納率の対前年度比増に向け、年間計画に基づき、毎月、停水を伴う滞納整理を実施している。平成23年9月末の上水道事業過年度未収金収入は32,367,690円（収納率38.87%）で、対前年度比で収入額が3,330,235円増、収納率が5.24%増となった。 ・上水道整備事業に係る委託・工事関係業務は一部を除き概ね計画通り進めることができた。 ・下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布に加え、今年度は駅東の平成通りにおいて開催された、平佐地区の寄奥城夏祭りにおいて下水道に対する相談窓口を設置する等して普及活動に当たった。 				
⑨年度末総括	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業経営合理化に向けた検討・研究を進めるため民間委託について業者からの先進地事例等の説明を受けた。水道料金収納率向上に向けて、平成22年6月から滞納整理専従の嘱託員を採用しており、年間滞納整理計画の策定、停水予告通知及び停水実施通知を対象者に送付、計画的な停水を実施した。また、戸別徴収にも積極的に取り組み、平成24年3月末の上水道事業過年度未収金の水道料金収入は41,206,650円（収納率49.48%）となった。（前年度同時期対比：41,542,065円、収納率48.12%） ・上水道整備事業に係る委託・工事関係業務は概ね計画どおり進めることができた。ただし一部の工事では発注方法の検討のため時間を要し、また発注後、関連工事や工事箇所での調整のため年度内完成ができなかった。 ・下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布に加え、今年度は初めての試みとして駅東の平成通りにおいて開催された平佐地区の夏祭りに参加し、チラシ配布及び下水道に対する相談窓口を設置する等して薩摩川内市下水道事業全体で353戸の新規接続者を確保することができた。 				